

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
12	翁長 学	町職員の専門職の採用を	現在、本町には、獣医師が2名います。1名は開業医、1名は共済医で今後、畜産が伸びると思われる。 獣医師は、各地で不足と言われている。将来の事を考えて行政で、獣医師の採用を。	町長	合併前は、両村共に獣医を採用していましたが、合併後の採用はなく、現在1名の開業医と、1名の共済医の2名体制で町の畜産を支えています。 町の定員管理の観点から、正職員としての獣医の採用は難しいですが、他市町村同様一般任期付職員として獣医の採用を、将来に向けて検討していきたいと思えます。しかし、産業動物専門の獣医が全国的に不足している状況化での自治体単独での獣医の確保は非常に困難であることが報告されます。	総務課 産業振興課	2906
12	翁長 学	那覇、久米島間の航空機の遅延について	町民の声として、質問します。最近、飛行機の遅れが多いと言われました。 久米島町も、琉球エアコミューターの株主であるので、会社側に助言が必要ではないか。	町長	航空便の遅延について、去る5月24日琉球エアコミューター株式会社取締役会において、原因についての説明と改善を求めたところであります。 遅延の主な要因に、午後における那覇空港の管制混雑によるものが大きく、同時間帯に運航するRAC879便、880便が影響を受けております。 今後における遅延の改善策として、879便に使用する機材の到着時間と出発時間の間隔を拡大するダイヤの見直しを行い、定時出発性の確保を図っていくとの説明がありましたので、ダイヤ見直しの早期実行を求めて参ります。	商工観光課	2906
3	平良 弘光	久米島マラソンについて	以前の久米島一周マラソンコースへの変更について伺う。 (ていーだ橋からみる景観をいやすため、時計回りにコースを設定)	町長	久米島一周マラソンは、平成元年から平成14年まで開催しておりますが、大会参加者数が伸び悩み、平成14年の大会が744名に減少したこと、さらに具志川、仲里両村の合併記念として、平成15年にフルマラソン及びハーフマラソンを導入し、「久米島マラソン」としてリニューアルした経緯があります。マラソンは、人気の高いスポーツともあって、初回参加者が1,404名と大幅に増え、以降も1,500名前後で推移しております。 右回りの一周マラソンへの検討にあたり想定されるのが、コース上の交差点において全面的な交通規制を行なう必要があることから空港方面への交通に影響が出ること、さらに高低差の大きい坂道が約12キロ続くことから集客力への影響が懸念されます。 変更については、久米島マラソン参加者の今後の動向を見ながら、関係者の意見や参加者アンケートも交えながら可能性について検討したいと思えます。	商工観光課	2906
3	平良 弘光	業務の集約について	体育協会、スポーツ施設管理、各種大会運営業務を集約することは出来ないか伺う。	町長	現在社会体育は教育課、スポーツコンベンションやその他イベントは商工観光課が担っています。以前より組織運営の課題の一つとして、スポーツイベントを含めた各種イベントの整理・一元化を議論してきており、今後も効率的な行政運営の観点から検討を進めていく方針です。スポーツ関連施設の管理については、指定管理などの民間委託の推進を検討しています。	総務課 商工観光課 環境保全課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
3	平良 弘光	パークゴルフ場の使用料金について	障害者割引等の料金設定は出来ないか伺う。	町長	現在、パークゴルフ場の利用料金については、障害者割引は設定されておらず、他のパークゴルフ場においても設定されておりません。障害者割引については、今年度の新設される新しい9ホールの利用料金を含めて検討をしたいと思います。	環境保全課	2906
3	平良 弘光	学童保育について	子育て世代の人が安心して働ける環境づくりの中で最優先事項だと思いが、平成29年度の取り組みについて伺う。	町長	本町では、学童保育は実施していませんが、ニーズはありますので子どもたちが安心・安全に活動できる拠点としての学童保育は必要であることから久米島町子ども子育て会議に諮問し早期開所に向けて取り組んでいきます。	福祉課 教育課	2906
3	平良 弘光	負担金の支援について	宇江城集落、島尻集落において平成33年度を目処にNHK共同アンテナの大がかりな改修工事が予定されているが、町から負担金の一部を支援について伺う。 (概算で一戸あたり7万円)	町長	テレビ等の難聴地域解消については、行政として支援する必要があると考えていますので、両集落及び関係者と支援内容等について検討を進めてまいります。	企画財政課	2906
5	吉永 浩	町職員に対する「ストレスチェック」の実施状況について	行政サービスの要は職員。その職員が最大限能力を発揮するには健康が大切であると考え。「心の健康を守る為」のストレスチェックの結果と、その後の対応を伺う。	町長	平成28年度に職員のストレスチェックを実施する予定でしたが、産業医の確保ができなかったため、年度内に実施することができませんでした。今年度ようやく産業医確保の目度が立ったため、今月中にストレスチェックを実施する予定です。ストレスチェック結果のフィードバック体制としては、産業医による面談のほか、産業医以外の相談窓口の紹介やカウンセラー派遣による相談機会の設定も計画しています。	総務課	2906
5	吉永 浩	幼稚園統廃合後の保護者へのアンケート結果について	幼稚園統廃合後、保護者へアンケートをしているが、その結果とその後の対応について伺う。	教育長	町教育委員会は、幼稚園の統廃合を実施後、年度末の今年3月に、一年間の幼稚園保育等の成果と課題を把握し、今後の保育活動の計画及び改善等への参考とするために、幼稚園教諭への調査と併せて、園児の保護者の皆様にアンケートを実施致しました。アンケート項目は、1つめに学びの内容が増え切磋琢磨し個性や能力を伸ばせる教育効果、2つめに幼稚園生活や保育活動中における安全性、3つめに園行事のあり方など、各説明会で示した予想される効果と課題及び保護者の意見を書いて頂きました。アンケート実施後の対応につきましては、結果の集計を行い、3月末に町のホームページで公表しております。仲里幼稚園、清水幼稚園の保護者及び教諭のアンケート結果を受け、その成果と課題等を踏まえ、今年度の幼稚園運営や保育活動の支援に生かしてまいりたいと考えております。	教育課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
5	吉永 浩	アルコール健康障害対策について	町として、今後どの様に対策を考えているのか、町長の見解を伺う。	町長	アルコール健康障害対策については平成28年5月に国においてアルコール健康障害対策推進計画が策定され、都道府県においても同計画を策定するよう努めなければならないとされていることから沖縄県においても本年度に計画策定を進めているとのことです。国の計画においては、アルコール関連問題の相談支援を精神保健福祉センターや保健所等が中心として行うこととなっているので、南部保健所等と連携して取り組んでいきたいと思っております。	福祉課	2906
5	吉永 浩	ふれあい公園のゴミの管理について	遊具が出来、子育て環境充実に進展がある。一方、ゴミが散乱している。現状対策は、考えているか。	町長	ふれあい公園の遊具設置後、利用者によるゴミのポイ捨て、遊具の危険使用等のマナーの悪さが目立っています。 遊具周辺については、清掃員がふれあい公園トイレ清掃時にごみ拾いを行っています。また、ポイ捨て禁止や危険な遊び方注意の看板を設置、FMラジオ等で呼びかけを行っています。	環境保全課	2906
5	吉永 浩	庁舎内、カウンターのバリアフリー化について	以前にも同僚議員からあったが、障害者や高齢者が活用しやすい町づくりとして、カウンターのバリアフリー化について、進展はあるのか伺う。	町長	現在、仲里庁舎の改修工事を計画しており、今年度は改修工事の設計を委託する予定です。カウンターのバリアフリー化についても、庁舎改修の一環として計画に含めて検討していく予定です。	総務課	2906
2	盛本 實	観光振興について	本町においては、平成25年度に観光振興基本計画を策定し、平成26年度から平成30年度までの5年間の観光入客数を年度毎に需要予測を立て、行政と観光協会が連携し計画実現のために鋭意取り組んできた事は周知している所です。その努力により昨年度までは計画通りの数値目標を達成しており、このままの伸び率で行くと最終年度の予測である12万人の目標達成は確固たるものと思われま。物事をなす場合、順風満帆であればあるほど油断は禁物であります。引き続き次の目標に向かい全力投球して頂きたいが、今後目標達成のためにどのような取り組みを強化して行くのか、また見通しについて伺います。	町長	久米島の観光入域客数は、平成26年度から好調に推移し、平成28年度には目標数を上回る111,509人が来島しております。好調に推移する観光ですが、まだまだ課題は多く、特に久米島の知名度、認知不足の解消、ブランディングの構築、交通アクセスの拡充等に取り組む必要があります。 平成30年度の目標12万人の達成に向けては、楽観視することなく、効果的なプロモーション展開による知名度及び認知度の向上、航空座席の拡充、チャーター便の継続などの誘客対策を観光協会及び関係者と連携を図りながら取り組んで参ります。	商工観光課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
2	盛本 實	集落形成の維持について	本町において、少子高齢化の加速により地域行政の維持、社会的共同生活の維持、伝統文化の継承、その他の行事の取組が出来ない集落が増えてきているのが現状であります。このままの状態では大部分の集落が5年若しくは10年後には危機的集落へ移行し最終的には消滅集落になりかねない状況に陥る可能性があります。町民の生活福祉の向上から行政としては早急に対策を講じる必要があると思われるが、町長の考えを伺います。	町長	今年2月、各区長を対象に自治会運営に関するアンケート調査を実施しましたが、将来的な字の統廃合については、ほとんどの字が「統廃合は望まない」との結果となりました。しかし、人口減少や高齢化が著しい集落もあることから、小規模集落においては、「字」のコミュニティは残しながら行政区としての統合を図っていくことや、総務省が進めている集落支援員の配置を検討するなど、住民のコミュニティ形成を積極的に支援していきたいと考えています。	総務課	2906
2	盛本 實	久米島高校の持続的発展について	沖縄県教育庁の県立高校編成整備実施計画による久米島高校園芸科の廃止に端を発し、本町においては官民一体で「久米島高校魅力化事業」への取組を始め、「久米島高校の高校魅力化と発展を考える会」を立ち上げ園芸科存続ひいては久米島高校の存続発展に向けて取り組んできました。その結果全国からの離島留学生は年々増加の一途を辿り今年度12名の生徒が入学しており、取組の結果が顕著に表れてきております。しかしながら、未だ久米島高校の定員数を満たすまでには達していません。現状、対外的な取組はかなり強化されている様に思われますが、島内対策の取組が若干遅れている様な気がします。今後の島内外への取組について伺います。	町長	島内対策として、6月から中学生及び保護者を対象に、久米島高校の魅力が十分に伝わるよう説明会を開催し、久米島高校進学に繋げたいと思います。次に島外対策としては、7月に東京及び宮城県仙台市で入学説明会を開催し、次年度留学生の確保に努めてまいります。	企画財政課	2906
8	喜久里 猛	久米島観光について	・美ら福木は観光客に喜ばれているか。 ・トライアスロンの運営方法について、町民の協力は得られているか。	町長	・チュラ福木については、樹齢200年以上の老木であることや暴風等による枝の欠損があり、樹勢も以前の様な勢いも無いことから、樹木医の診断を受けながら施肥や剪定等樹勢回復につながる保護対策に取り組んでいる所です。  ・トライアスロン大会については、事務局を沖縄県サイクルスポーツ振興協会が担っており、コース設定をはじめ、ボランティアスタッフの確保・配置、運営等について、実行委員会各部会と連携しながら開催しております。 町民から大会についての意見等については、町には寄せられておりませんが、事務局には交通規制に関する苦情が1件報告されております。 大会の開催にあたり、区長会、学校などに協力を依頼し、270名のボランティアスタッフの協力を得て運営に当たりました。	博物館 商工観光課	2906
8	喜久里 猛	久米島の人口について	町長の公約に人口増をかかげているが、その見通しはあるか。	町長	人口は私が就任した平成26年5月から本年4月末現在まで間で328名減少し8,013名となっております。 人口増については、少子高齢化の進展等で厳しい状況ですが、第2次総合計画や地域創生総合戦略に掲げた施策を進めることで人口減少に歯止めをかけることが必要と考えております。	企画財政課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
8	喜久里 猛	県道の草刈について	県道草刈は、町が受託しているが、地元の業者は大丈夫か。	町長	県道維持管理業務委託は、昨年度まで、南部土木事務所が本島から5社、久米島から1社の6社で指名入札していた委託業務を県から町が受託して、島内業者だけで指名入札しました。毎年度、地元業者が受注しているので十分対応できます。	建設課	2906
7	仲村 昌慧	給付型奨学金制度について	給付型奨学金制度については、豊見城市が県内市町村で初めて、生活保護世帯で大学進学する学生を対象に、返済義務のない給付型奨学金制度を始める。又、今帰仁村も検討している。 本町では、前村基金による給付型奨学金制度はあるが、生活保護世帯の学生を対象にした給付型奨学金制度を導入する考えはないか伺う。	教育長	本町におきましては、給付型奨学金は、前村幸秀人材育成基金がございしますが、現在のところ生活保護世帯の生徒を対象としたものはございません。しかしながら、より多くの生徒が前村基金を利用できるようこと、昨年度より学費が高いとされる医療に係る大学や専門学校へ進学した者まで補助対象枠を広げました。その結果、申請者は約2倍に増え、今後も多くの生徒が進学への意欲がより高まっていくと喜んでおります。ただ、生活保護世帯の進学を希望する生徒を対象とした「給付型の奨学金制度」の導入につきましては、財源の恒常的確保が見通せない現状におきましては、大変厳しいと考えております。	教育課	2906
7	仲村 昌慧	学校給食の無償化について	学校給食の無償化について、町長は過去の答弁で、「給食費の無償化については事務方に指示をしながら任期中に改善できるように取り組んでいく、可能な限り頑張っていきたい。」と述べている。町長の任期が最終年度に入っているが、任期中に無償化するのか、学校給食の無償化について町長の見解を伺う。	教育長	保護者の給食費の負担を軽減するために、町では、平成24年度まで国から補助があった「へき地児童生徒の食に関する支援事業」が廃止後も、毎年約400万円負担しており、また平成21年度給食費を改訂以降、消費税が5%、8%アップした上、食材費の高騰時にあっても、他の自治体が給食費値上げに踏み切る中、本町は未だ据え置くなどの努力を続けております。また、本町には就学援助を受けている児童生徒が小中合わせて約26%おりますが、給食費は就学援助の補助を受け無償となっております。 給食費の無償化を実現するには、残り74%の児童生徒の給食費の財源確保が必要となります。就学援助を受けていない児童生徒の給食費の総額は、平成27年度は、約2680万円、昨年度は、5年間実施予定の「子どもの貧困対策推進交付金事業」を活用した結果、約480万円減の約2200万円となっております。今後、給食センターの建設を予定している中で、約2200万円の財源を恒常的に確保できるかどうか、財政課と調整を続けてまいります。	教育課 企画財政課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
7	仲村 昌慧	子ども議会の開催について	<p>本町議会では、議会活性化の方策の一環として、子ども達に議会への関心を深めることを目的に、子ども議会開催への取組を行うことになっている。</p> <p>開催実現にあたっては、執行部・学校側の協力が必要である。そこで、子ども議会の開催について、町長・教育長それぞれの見解を伺う。</p>	町長 教育長	<p>子ども達が、議会の仕組みや運営を体験し、民主的な政治がどのように進められているかを理解することは、将来の久米島の担い手を育成する上で、大変重要なことです。本町でも、子ども議会の開催に向けて議会事務局や教育委員会と連携したいと考えています。</p> <p>「子ども議会」は、児童生徒が自分の町を将来どのような町にしたいか夢や希望を提言し、議会を体験することで、議会や行政の意義やしくみを理解することを目的としています。</p> <p>議会政治については、小学校6年生や中学校3年生の社会科の学習で学ぶことから、実際に議場で体験することを通して、学んだことがより深まることや、子ども自身の社会参画への態度や意欲を培うことができることが期待できます。</p> <p>本町におきましては、これまで一度も子ども議会が開催されておらず、実施するには、担当部局から校長連絡協議会等の中で、趣旨を説明した上で、各学校の回答を踏まえ開催に向けて前向きに検討してまいります。</p>	総務課 教育課	2906
6	赤嶺 秀徳	儀間川の浚渫改修について	<p>私達が幼少の頃の儀間川は、水量が豊富で鮒やテラピラ、蟹等が良く取れました。しかし、現在は水量もなく水が淀み悪臭がするなど最悪な川となっています。那覇市内を流れる国場川でさえ蘇生し浄化に転じていることを鑑みると、儀間川の汚濁は行政の怠慢ではないか。と疑ってしまいます。</p> <p>儀間川の改修計画については、平成27年9月定例会に於いて、崎村議員からも質問されております。その答弁の中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・儀間ダムの治水効果を検証し緊急性等を考慮して事業採択したい。旨の答弁をしています。そこで2点について伺います。</li> </ul> <p>(1) 儀間ダムの治水効果は検証したか。したのであれば、その結果は、</p> <p>(2) 仮に緊急性がない場合でも現在の儀間川は浚渫、浄化する必要があると思うが、その計画はないか。責任ある答弁をお願いしたい。</p>	町長	<p>儀間川は2級河川で県管理となっているため、土木建築部河川課及び南部土木事務所に問い合わせたところ、「(1)儀間ダムの治水効果は検証したか、その結果は？について、県河川課からの回答は、「儀間ダムについては、平成28年4月より供用開始していることから、儀間川における治水安全度は向上していると考えている。ことと、儀間川下流の整備の緊急性等は、今後の状況を踏まえて、検討していきたいと考えています。なお、儀間ダム供用後、平成29年5月末まで儀間川の氾濫は報告されいません。」となっています。(2)儀間川の浚渫及び浄化する計画はないか？について、「河川の維持管理については、氾濫の危険性及び緊急性の高い箇所から予算の範囲内で順次実施しております。今後も、河川の点検・調査を実施したうえで、危険性及び緊急性の高い箇所から優先的に対策を行っていきたいと考えています」と南部土木事務所維持管理班から回答がありました。</p>	建設課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
6	赤嶺 秀徳	子供の貧困について	5月17日付の新聞報道によると、北中城村が子供の貧困について独自で調査を行なったところ、様々な問題が出てきたことが報道されています。 久米島町においても「子供の貧困について」実態調査をする必要があると思うが、町長の見解について伺いたい。	町長	久米島町においては、「子どもの貧困について」実態調査は行っておりませんが、貧困対策として要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業を実施するとともに、準要保護児童生徒就学援助事業を拡充しています。 北中城村の実態調査は、民間業者に委託で調査されていることから、本町で実態調査を行うのであれば、関係課と調整します。	福祉課 教育課	2906
6	赤嶺 秀徳	子供の医療費窓口無料について	現在、「こども医療費助成事業」が行われているが、県は、子供の貧困対策と低所得者世帯のこども医療支援の充実のため「こども医療費助成事業」の見直しを決め、低所得者世帯の子どもが医療機関を受診した場合、窓口で支払わないで済む「現物給付」を導入し、通院も中学卒業まで拡充する案を検討するとしているが、財政負担を抑制するため、低・中・高の所得区分を新たに設け、高所得世帯は助成対象外とする方向で市町村などと話し合いを進め、見直された新たな制度を来年10月にも導入する考えで所得区分の線引きや市町村との合意形成が今後の焦点となっているとしています。 この新たな制度についての町長の見解を伺います。	町長	平成30年度の事業見直しに向けて県が意向調査中であります。本町としても早期治療、子どもの貧困対策など低所得者の観点からも現物給付対応していく方向であります。給付要件については、見直しされる新たな制度で検討していきます。	福祉課	2906
6	赤嶺 秀徳	防災士認証登録者について	県内の防災士認証登録者数が実数や人口当たりの人数共に全国で最も少ない位置にあります。実数では、327人となっており、沖縄県より人口の少ない、鳥取県や島根県より下回っている状況であります。この様な結果の中にあつて、防災士認証登録者の等、久米島町の実態について伺いた。 (1) 久米島町の有資格者について実態把握はしているか。 (2) 資格者を育成する計画はないか見解を伺いたい。	町長	地域防災力の向上を目的とした防災士制度は、度重なる大災害を教訓に、全国的に資格取得者が増えています。当町においても地域防災力の強化のために、多くの方に防災士の資格を取得してもらいたいところですが、県内で防災士研修が実施されていないことから、全国的にも沖縄県の有資格者が少ないのが現状です。 防災士の資格は、申請や届出をするものではないため、町内の有資格者数については把握していません。 県内で研修を受けられる環境が整備されれば、防災士資格取得のための助成制度などを、積極的に検討していきたいと思ひます。	総務課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
10	玉城 安雄	下水道について	町長の施政方針では、未給付対策事業により、真我里、銭田。山城、儀間、嘉手苅地区の下水道整備推進を図っているが、公共下水道の区域から除外されている山城地区の球美の里周辺の下水道敷設についてどのように考えるか当局の見解を伺う。	町長	本町特別環境保全公共下水道事業区域外の敷設は厳しい状況です。現在、県下水道課に問い合わせでどのような整備事業が有るか検討中です。	水道課	2906
10	玉城 安雄	児童公園の整備について	ふれあい公園に大型遊具が設置され地域の子供たちに喜ばれている。また久米島中学校運動場跡地にもパークゴルフ場、遊具等が設置され家族で楽しめる公園整備が計画されている。しかし仲里中央地区には子供が安心して遊ぶことが出来る児童公園がない。児童公園の整備について当局の見解を伺う。	町長	児童公園の必要性については認識しておりますので、平成30年度に一括交付金を活用し仲里中央地区に児童公園の整備ができないか検討します。	企画財政課	2906
10	玉城 安雄	認定こども園について	少子高齢化の影響で地域によっては、幼稚園や保育所が単独で成り立つことが困難となってきたり、集団生活を学ぶことや幼児教育の上で現在の方法でよいのかといった問題も出てきている。幼稚園と保育所の機能を備え幼保一元化を目的とした認定こども園について、本町はどのようにとらえているか当局の見解を伺う。	町長	久米島町子ども子育て会議に諮問し、ニーズ調査、先進地の認定子ども園に移行した事業所を視察し、子ども子育て会議で審議中であります。	福祉課 教育課	2906
10	玉城 安雄	学童保育について	仕事と子育ての両立のため、学童保育を必要としている家庭が増えている。また少子高齢化で核家族化が進み児童生徒の放課後の居場所づくりが課題になっている現状において、潜在的ニーズが多いと思われる学童保育についてどのように考えるか当局の見解を伺う。	町長	本町では、学童保育は実施していませんが、ニーズはありますので子どもたちが安心・安全に活動できる拠点としての学童保育は必要であることから久米島町子ども子育て会議に諮問し早期開所に向けて取り組んでいきます。	福祉課 教育課	2906
10	玉城 安雄	人口減少対策について	本町の人口は、今だに減少傾向が続いており人口減少に歯止めをつけることは、第2次総合計画の中でも重要課題である。大都市圏を中心に居住環境の悪化等、地方での生活を希望する人も増加傾向にあると聞く。本町でも移住定住に向けた取り組みを推進しているが、取り組み内容や進捗状況を伺う。	町長	平成28年度より、地域おこし協力隊制度を活用し、島ぐらしコンシェルジュを設置し仲原家や都市部の移住フェア等で、移住・Uターン相談を受け付けています。また、ホームページ「島ぐらしガイド」を開設し、移住に必要な情報を発信と「久米島町移住・定住推進アクションプラン」を策定し、移住定住に取り組んでいます。 平成28年度実績は移住相談172件で、うち移住決定者数は13世帯25名となっています。	企画財政課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
1	喜久村 等	駐車場の増設について	イーフ地区の久米アイランドホテルの向い(海側)の所に駐車場の増設はできないか。	町長	観光業や飲食業が集中するイーフ地区においては、以前から公共駐車場の増設を地域からも強く要望されております。公共駐車場の場所については、ご質問の箇所を含めて、地域住民と協議しながら検討を進めて行きたいと思っております。	総務課	2906
1	喜久村 等	高齢者用の遊具について	久米島町内各地区のゲートボール場に高齢者の健康増進、又は健康維持のため、高齢者用の遊具の設置はできないか。	町長	健康遊具には様々な種類があり、高齢者の健康づくりのため設置する公園が増えてきており、最近話題となっています。町でもパークゴルフ場など、数か所の公園等に、健康遊具を設置しています。ご質問にあります「各地区のゲートボール場」への健康遊具の設置については、町の管理下でない場所も多いため、公園等の公共施設で高齢者が利用しやすい場所を中心に、今後設置を検討していききたいと思っております。	総務課 環境保全課	2906
9	棚原 哲也	観光地の安全対策について	奥武島の畳石は、国指定の天然記念物として石碑も建立され主要な観光スポットとして在るにも関わらず、現在は階段式の護岸があるのみで勾配が急で昇降するのに危険な状況であり、車いす等の身体が不自由な方々は畳石を眺めることすら困難な状況であります。また、小さな子どもが昇降するのも危険な状況であると思われれます。 安全対策としての手摺りやスロープの設置、もしくは芝生側から車いすに乗ったままでも畳石が望める様な安全柵等の設置等対策が必要だと思いが町の考えを伺いたい。	町長	奥武島の畳石に隣接する護岸壁は、昭和58年度に林地荒廃防止施設災害復旧事業により沖縄県が整備しておりますが、工作物については南部林業事務所への許可申請、さらに当該地区が、沖縄県立自然公園第2種特別地域に指定されていることから、沖縄県自然保護課への許可申請も必要となります。 車いすや体の不自由な方が、護岸上から畳石を展望できるようスロープ及び安全柵の設置については、観光協会や県の関係課とも調整を図りながら検討していききたいと思っております。	商工観光課	2906
9	棚原 哲也	アーサ虫(クロヌカカ)防除について	町内西部、大原海岸(シンリ浜)を中心に生息するアーサ虫の早期の根絶対策を	町長	アーサ虫については、久米島町と沖縄県衛生研究所の共同調査をし防除対策に取り組んで来ました。また、町として粘着シートによる虫取りトラップを設置しての捕獲駆除、パンフレット等による予防対策の呼びかけを行っています。 現在、委託業者により発生場の確認や防除剤の確立等の調査を行っています。 昨年度に初めて蛹の発見をしました。蛹の発見により防除対策が取れることを期待しています。また、沖縄県環境整備課とも情報交換を行っておりますので県の協力を仰ぎながら対策を実施して行きたいと思っております。	環境保全課	2906

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課	議会名
9	棚原 哲也	遊休町有施設の効率的利活用について	仲里漁港(真泊)地内にあるターミナル建屋が改修整備はしたものの未利用の状況にある。今後の活用計画はあるのか。	町長	真泊ターミナルは、平成25年から民間企業が賃貸していましたが、事業閉鎖により平成27年に退去しました。その後複数の企業等と賃貸に関する調整を行ってきましたが、今年度から久米島漁協等、複数の団体が利用することが決定しています。	総務課	2906